

あります。

相生小学校の利活用で方向が定まらない理由の一つは、施設の維持管理の問題があります。それを町で負担するのが運営主体が負担するのによつて、可能性は大きく変わってきます。経済として成り立つのかというところも考えていくべきです。

宿泊となると改装も必要となりません。学校を開きたい人は全国にいないだろうか。インターネットで公募して、学校を開けないだろうか。全国的にはリーススクールなんかもあり、外部から来てもらって学校を運営するというところは考えられないだろうか。



【事務局により、基本構想の趣旨が説明されました】

情報の発信と情報の交流

一人暮らしのお年寄りが安心して生活できる福祉施設の拡充。
保育所の改築や給食など多様なサービスの展開。
障がい者のための小規模作業所、授産施設などの実現などです。
空き店舗対策は理解しますが、空き店舗をつくらないための対策は大事だと思います。

これらの提出されましたご意見については、意見交換会で寄せられたものと併せて審議会としての考え方をまとめ、9月号広報つへつをもって皆さんにお知らせすることとしております。ご意見ありがとうございました。

【今回の第14回策定審議会について】
日時 平成21年8月11日(火曜日) 18時30分～
場所 津別町林業研修会館 集会室他
公開開催の策定審議会です。町民皆様の多数のご来場をお待ちしております。

なお、これらの計画づくりの概要などについては、引き続き広報や町のホームページに掲載していくこととしております。
問い合わせ先
総合計画策定審議会事務局
☎76-2151内線241

平成21年度自衛官募集のお知らせ

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満	随時受付中	9月16日(水)
			9月17日(木)
一般曹候補生		8月1日(土)～ 9月11日(金)	9月19日(土)
航空学生	高卒(見込み)21歳未満		9月23日(水)
看護学生	高卒(見込み)24歳未満		10月24日(土)
防衛高等学校	高卒(見込み)21歳未満	9月7日(月)～ 10月2日(金)	11月7日(土)
			11月8日(日)
防衛医科大学校			10月31日(土)
			11月1日(日)

問い合わせ先 帯広地方協力本部北見地域事務所 ☎0157-23-6826

北海道苦情審査委員制度のお知らせ

道の仕事に関して、皆さん自身の利害にかかわる苦情は、「苦情審査委員」に申し立ててください。

苦情の解決に向けて、簡易な手続きで、苦情審査委員が中立的な立場から、道の業務や制度の内容を調査するなど、迅速に処理します。なお、個人情報の保護には十分配慮します。

苦情の窓口は、道庁の「道政相談センター」のほか、各支庁の「道政相談室」です。制度の概要と苦情申立書をセットにしたリーフレットを用意しております。苦情の窓口へ連絡してください。

道のホームページでも苦情審査委員制度のお知らせをしています。トップページの相談窓口 道政 一般からご覧下さい。(http://www.pref.hokkaido.lg.jp/)

苦情の申立て方法は、所定の「苦情申立書」により、郵送、ファックス、メールでも申立てができます。

連絡先 北海道総合政策部知事室道政相談センター
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
☎011-204-5022(直通)

E-mail kujyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp

海上保安大学校学生を募集します

受験資格 平成22年4月1日現在で21歳未満の方、高等学校卒業程度

申込受付期間 8月27日(木)～9月8日(火)
(当日消印有効)

第1次試験 10月31日(土)及び11月1日(日)

場所 釧路市ほか(札幌市、函館市、小樽市、旭川市)
試験の詳細や受験案内等について詳しくは下記まで問い合わせ下さい

問い合わせ先
紋別海上保安部管理課 ☎0158-23-0118
ホームページ http://www.kaiho.mlit.go.jp/

高齢者の歯のコンクールについて

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの意識の向上を目的とした高齢者の歯のコンクールを開催しますのでお知らせいたします。

対象 満80歳以上の方

必要書類 ・口腔内写真(5枚法)・写真(日常生活のスナップ写真等)・オルソパントモ

応募期日 9月30日(水)まで

応募方法 掛かり付け歯科医に相談のうえ、応募下さい

表彰 11月8日(日)に北海道歯科医師会館又は札幌市内ホテルにて表彰。(旅費等は北海道歯科医師会が負担)

応募・問い合わせ先
北海道歯科医師会 ☎011-231-0945



【利活用について注目が集まる相生小学校】

ころとして是非移住してもらいたいと思います。地域の人と触れ合っていかなければならないと思います。移住につなげて行くためにはちょっと体験では難しいと思います。学校でのキャンプは夏でも夜になると寒く、暗闇に星だけが輝いています。移住するとなると冬の寒さを経験する必要があります、そのために1年を通じた体験が必要だと思えます。やると決めたら誰が何と言おうとも貫く決意が必要です。何かをやるうとしたときに、必ず反対する人がでてきますが、不転転の気持ちでくじけないでやってもらいたいと思います。

《意見募集に関して》

7月24日現在、5名の方から意見書が提出されております。

その概要は、次の通りです。

津別の心が安らぐ風景を経済と雇用に。

津別高校の存続。

自然の良さを売りに。

お年寄りや女性たちが楽しめる場所づくり。

空き店舗や空き家の利用。

津別のキャラクターをつくる。イベントでの個人店舗の出店

規格外農産物の販売。

最先端IT企業を呼び込む。